

◎ 浄土真宗基礎講座(兼 超覚寺女子会定例会) : 13時～14時

毎月28日(御開山 親鸞聖人の御命日)に開催しています。

今後の開催日⇒1/28(木)、2/28(日)、3/28(月)

◎ 死別の分かちあいの集い(予約・参加費不要) : 13時～15時

・伴侶 : 毎月第1土曜日 (1/2、2/6、3/5、4/2、5/7、)

・自死 : 毎月最終土曜日 (1/30、2/27、3/26、4/30、5/28)

◎ ほっ!と相談 : 毎月第2火曜日 13時～16時

精神対話士(メンタルケアの専門家)に、日頃心の中に溜め込んでいる
モヤモヤした気持ちを吐き出して、ほっとする時間を持ちませんか?

◎ お寺でチベット体操 : 毎月第2・4火曜日 10時半～11時半

広島リビング新聞社が主催する講座です。受講料が掛かりますが、
関心のある方は超覚寺まで御連絡ください。

◇ 報告・連絡・“僧”談

前号の「八丁堀だより」に、「お葬式は何処ですべきか?」と問題提起しました。
その後いくつかの御質問をいただき、結構誤解されていることに気づかされました。
先ず本堂の会場費についてですが、葬儀会館より高額だと勘違いされていました。
超覚寺の境内墓地にお墓のある方は、寺院護持費(墓地管理料)をお納めて
いただいているので、仏様へのお供えの他に別途会場費は不要になります。
また、広島県外にお住いの方が、「私が死んだら、こちらでお参りしてもらえるか?」
とお尋ねくださいました。お葬式に限らず、御依頼があれば何処へもお参りいたし
ます。御門徒の導師を務めるのは住職の責務ですから、どうぞ遠慮なさらず御相
談ください。

先日、インターネットのamazonが僧侶の派遣業務を扱い始めました。こうい
う事態を招いたのは、僧侶の怠慢からだと思えます。超覚寺門徒の皆さまに、そのよ
うな思いを持たれないよう頑張ります。御助言の程、よろしくお願ひいたします。

発行人 : 超覚寺住職 釈隆恩(和田隆彦) (* - -)人 i ~ 合掌

2015年12月冬 超覚寺報 第20号

【八丁堀だより】



真宗大谷派(東本願寺)



林鶯凶 超覚寺
憶西院

RIN-OH-ZAN OKU-ZEI-IN CHOH-KAKU-JI

(since 仏暦2002, 西暦1619, 元和5)

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wada@namuamidabutsu.com

HP : http://www.namuamidabutsu.com

超覚寺 冬の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、
ありがとうございます。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、
ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<(_ _)>

◎ 2016年 修正会法要

1月1日(金・祝) 6時～、8時～、10時～、12時～、
1年の計は元旦にあり。「今年もお念仏の道を歩ませていただきます」と阿弥
陀様にご挨拶申し上げます。住職が約10分ほどの勤行・法話を勤めます。
お墓参りの際に、どうぞ本堂までお参りください。

◇ 2016(平成28)年の御法事をご確認ください。

・2015(平成27)年：1周忌 ・2014(平成26)年：3回忌
・2010(平成22)年：7回忌 ・2004(平成16)年：13回忌
・2000(平成12)年：17回忌 ・1992(平成4)年：25回忌
・1984(昭和59)年：33回忌 ・1967(昭和42)年：50回忌

お勤めは、ご自宅でもお寺でも大丈夫です。希望日時をお早めにご連絡くだ
さい。念のため、境内墓地通路脇の案内板に該当者名を掲示してあります。

◎ 2016年 春季彼岸会法要

3月21日(月・祝) 13時～ 勤行・高座説教：住職
14時～(休憩)～15時30分

高座説教：祖父江佳乃師

今年も名古屋市の有隣寺住職、祖父江佳乃師に御出講いただきます。

◇ 【東本願寺 お煤払い】

毎年12月20日に東本願寺では「お煤払い」が行われます。お煤払いとは、新
年を迎えるにあたって御荘厳を正すために御堂を掃除することです。今年には阿弥
陀堂の御修復が完了していないため、御影堂のみのお煤払いとなりました。

先ずは御影堂のたくさんの障子を撤去し落縁の欄干に立てかけていきます。次
に参加者が一列に並んで、職員の方の号令で一斉に竹棒で畳を叩く、「畳叩き」
が行われます。約100人の参加者が一斉に畳を叩くことで、御影堂内の埃が一
気に舞い上がります。木造建築物として世界最大級の広さを誇る御影堂内での、
この光景は実に見ごたえのあるものです。

また、お煤払いの最後には「御規式」というものが行われます。この式は新たに
御堂の荘厳を整えてお給仕を始めるために御門首が覆い布に3mのホウキ
で「寿」の字をなぞられるものです。阿弥陀如来像と親鸞聖人像が安置されてい
る中尊の2箇所で行われます。

2016年は御影堂・阿弥陀堂・御影堂門の3棟の御修復完了奉告法要が勤
まり、お煤払いは14年ぶりに阿弥陀堂、御影堂の両堂で行われます。御堂の内
陣や裏側まで入れるのは、このお煤払いの機会しかありません。2016年も超覚寺
で参加する予定ですので、興味のある方はぜひ御一緒しましょう。



☆【「喪中ハガキ」考】

年末になると、「喪中につき年始の挨拶をご遠慮いたします」というハガキが届きます。確かに家族や親族が死を迎えることは悲しく寂しいことに違いありません。しかし、それと新年を寿ぐことは相反することなのでしょうか。身内が死を迎えたので新年を祝ってはならないということ、身内や私は死で穢れていて、他人に接しては忌み嫌われるということ。ご先祖になった家族を仲間外れにした年賀って何だろうと思います。

神道で死を忌む「喪中」という考えが、死別の悲しみに混在してしまえば、「死」をしっかりと見つめる御縁を逸してしまい、「生」のみが人生になってしまいます。死は悲しいことではありますが、生死無常の道理に目覚めれば、「死」もまた我らなり。生は偶然、死は必然。娑婆の縁尽きて、力なくして終わる時、彼の土へは参るべきなり。『あらたまの歳のはじめは祝うとも、南無阿弥陀仏のころ忘るな（運如上人）』

そもそも喪中とは、服喪令というかつての法律によるもので、喪中の期間はかなり厳しい生活が要求されます。現代では本来の喪に服した生活をしている人はいません。年始を祝う気持ちになれない情は理解できますが、喪中のハガキではなく、せめて「歳末の御礼」か「寒中見舞い」で身内の死を知らせつつ年始の挨拶を出して、年賀状を失礼する旨を伝えたら良いのではないのでしょうか。そのような文案を考えてみました。

【例文】『寒中お見舞い申し上げます。昨年、△△が□歳をもって安養の浄土に往生させて頂きました。世俗通途の義に従って御挨拶ご遠慮申し上げるべきかとも存じましたが、安芸門徒として如来の大悲を頂く者にとつて、死別は潤涙のことですが、死は決して忌むべきことではなく単なる通過点に過ぎないとお聞かせ頂いておりますゆえ、新年の御挨拶を申し上げます。「人の世に生をうくること難く、やがて死すべき者の、いま生命あること難し(法句経)」

もし御無礼になりましたら何卒ご容赦下さい。今年一年たっただしいながら、お念仏申し上げつつ、俱会一処の歩みを続けて参りたいと存じます。今年もよろしく御教導下さい。』

◎ 2016 (平成28) 年の法要日程予定

- ・1月1日(金・祝) 修正会 6時・8時・10時・12時
- ・3月21日(月・祝) 春季彼岸会(+節談説教) 13時
- ・4月9日(日) 花まつり(釈尊降誕会+初参式) 10時
- ・8月6日(土)・9日(火) 原爆殉難者追弔会
- ・8月14～16日(日～火) 孟蘭盆会 10時～
- ・9月22日(木・祝) 秋季彼岸会(+八丁堀寄席) 13時
- ・11月3日(木・祝) 報恩講(+御絵伝+人形説き) 10時
- ・12月8日(木) 釈尊成道会(+帰敬式) 13時
- ・12月28日(水) 2016年総追弔会兼永代経法要 13時

◇ 2016年に慶事のある方がおられましたら、お知らせください。

成人式を迎える方、結婚される方、出産される方へ、東本願寺からのお祝いとして、記念品(お念珠)を授与いたします。

この慶事を機縁として、お仏壇や本堂の仏様へのお参りや御先祖様へのお墓参りが報恩謝徳であること、お念珠を把持することの大切さ等をお伝えできたらと思います。どうぞいつでもお申し出ください。

◇ 寺院護持費(墓地管理費)について

遠方の方々は、どうぞ下記口座をご利用ください。

【ゆうちょ銀行 15190-55770601】

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込む際はは次の内容をご指定ください。

【店名】五一八 【店番】518 (普通) 5577060

御自身のお名前を入力せずに振り込まれる方がいらっしゃいます。お心当たりの方は超覚寺まで御連絡ください。

◇ “寺”後報告 【 超覚寺報恩講 】

11/21に無事勤まりました。31名がお参りくださいました。午前の法話は、真宗高田派の浦上哲也師が「仏教における女性の役割」についてを、午後の朗読劇の導入も兼ねてお話しくださいました。お斎後の午後は、浦上智子師 & 哲也師の御夫妻による朗読劇、「よきひと、親鸞 恵信尼ものがたり」でした。30Kg超の機材持参の本格的なもので、大河ドラマのような内容に1時間があつたという間でした。

超覚寺女子会お手製のお斎 ⇒
親鸞聖人の大好物と伝わる精進のメニューで今年も美味しかったです。



『 超覚寺さまの報恩講法要で、午前は法要のあと、住職が1時間半近く法話させて頂き、午後も法要のあとに「恵信尼ものがたり」をご覧頂きました。朗読劇の頃には程よく日が陰り、持っていた照明でいい雰囲気です。何だか...やりやらない...なんて感じながら、気持ちよく演じさせて頂きました。演者が気持ち良くなつてはダメと言われることもあるんですけど...。そんな日があってもいいですよ。』

終わるとまず、拍手より前にお念仏が聞こえてきて、感動的でした。劇中も所々で、手を合わせている姿が目に入り、すばらしいなと思いながら、勤めさせて頂きました。

坊守さんをはじめ、お子さんたちにも温かく迎えて頂きました m(_ _)m 駅でお弁当 & ビールを買って帰りの新幹線に乗り込み、またまたいい縁を頂いたな〜としみじみ心も満たされ、ノドも潤い、美味しい駅弁で口も胃も満足して、自坊に帰って参りました。

二日間に渡り、お世話になりました。心から有難うとお伝えたいです (^_^) 有難うございました m(_ _)m (恵信尼役の浦上智子師から) 』